

別紙 1 - 2 (事例用)

北海道農政事務所の事務・事業と連携した事例収集

取組名 : 新規需要米等を活用した6次産業化の取組
取組主体 : 農業生産法人「コントラクター旭川」
所在地 : 旭川市東旭川町旭正118
代表者名 : 代表取締役社長 佐々木勝美

1 取組の目的

同法人では、春から秋にかけての耕起、整地作業をはじめ、防除、収穫及び乾燥調整作業の受託業務と拡大して来たが、冬の農閑期における新規事業の検討も進めてきた。米の消費量が減少している中で、主食用米の生産拡大が困難なため、米粉の需要を確保し新規需要米の作付けを拡大することで、地域の水田有効活用と経営の安定を目指す。

2 取組の概要

同法人では、製粉機導入費用として半額を農業主導型6次産業化整備事業、4分の1を市からの助成を活用しつつ、米粉や大豆粉の生産を行っている。原料については、大豆の全量、米の50%以上を自ら生産しており、地域の生産者から購入する新規需要米を加えて製粉後、米粉パンの原料として、市内学校給食への提供、食品加工業や製菓店への提供のほか、地元JA直売所に販売している。

3 今後の取組目標

同法人では、市内の小麦消費量の1%を米粉への転換を図ることが目標。

4 取組の課題

目標達成のためには、米粉の使い方等のPR活動をし、普及、定着を進めていくことが課題。

画像



○製粉機械施設



○販売されている米粉

事例収集者 : 旭川統計・情報センター
連絡先 : 0166-76-1278